

自然のめぐみ

# 水しるべ

No.19



- 相模ダムのリニューアル事業
- 一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスの社会貢献事業について



神奈川県企業庁 相模ダム

# 相模ダムのリニューアル事業

## 1 どうして相模ダムをリニューアルするの？

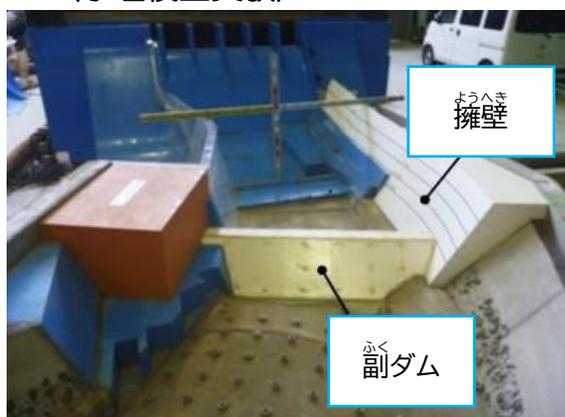
神奈川県には、水や電気、生活の安全を支えるために複数のダムがあります。これらのダムは「かながわの水がめ」として、私たちの暮らしにとっても大切な役割を果たしています。

中でも相模ダムは昭和22年(1947年)に完成した歴史のあるダムです。

しかし、建設から約80年が経過し、ゲートを支えるコンクリートの劣化や、ダム下流の川底や河岸の浸食が進行してきています。

そこで、将来にわたりダムを健全に保ち、安定して水道の原水や電力を供給するため、ダムを管理する神奈川県企業庁では、令和6年度(2024年度)からリニューアル工事を開始しました。

### 〈水理模型実験〉



ダムから流した水は流れが不規則で、水が跳ね上がる現象などが起こるため、50分の1の大きさの模型をつくり、実際に水を流す実験を行いました。

この実験により、水の勢いを緩くする工事や川底や河岸を保護する工事の必要性と、さらには、擁壁や副ダムの高さ・位置など設計に必要な知見が得られました。

## 2 どうやって相模ダムをリニューアルするの？

### (1) 下流施設工事

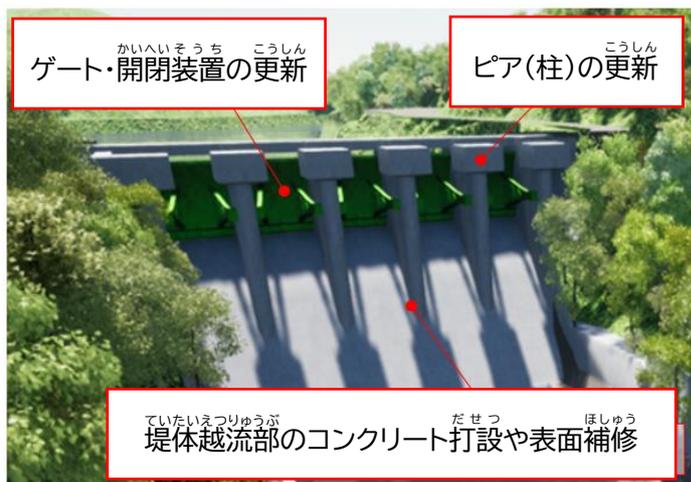
長年にわたる放流水の影響で浸食が進行している下流の川底などを保護するため、ダム直下に副ダムを構築し、さらには左岸擁壁の構築、右岸擁壁のかさ上げを行います。



## (2) 放流施設工事

老朽化している放流施設の下流側に新たに放流施設を作り、ゲートや開閉装置の更新、さらには堤体越流部のコンクリート打設や表面補修などを行います。

※放流した水が流れるところ



## (3) スケジュール

リニューアル工事は現在のダムを運用したまま進めるため、雨の多い時期を避け、毎年11月1日から翌6月14日までの期間に行います。令和6年度から19年間という、長期間にわたり行う大規模で難しい工事です。

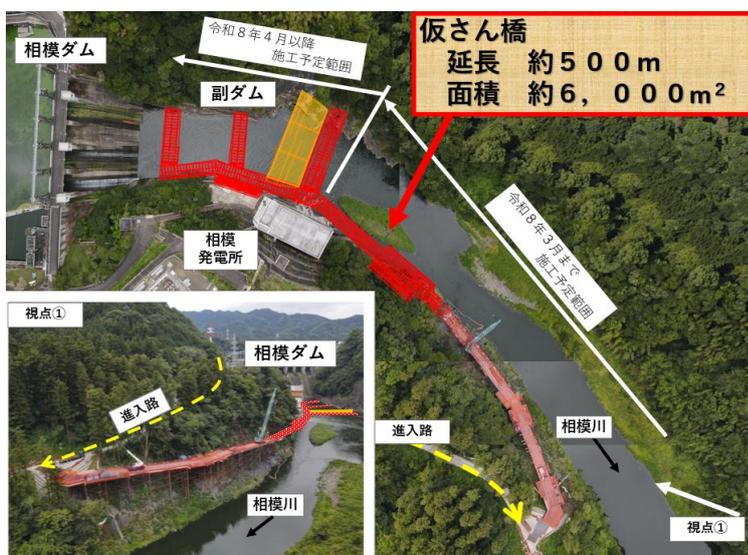
## (4) 事業費用

およそ420億円。費用の一部は私たちの水道料金が役に立っています。

## (5) 進捗状況

現在、ダム下流に設置した進入路から上流の相模ダムに向かって仮さん橋を伸ばしています。

今後は、工事現場周辺に設置される展望台から、工事の様子を見ることができるようになります。



## 相模湖ダム祭

令和7年度は10月5日開催

## 3 リニューアル完了後の相模ダムはどうなるの？

表紙の写真と、どう変わったか比べてみよう。



ぼくは、ダム祭で相模ダムの工事を見学したよ！  
みんなも見に来てね☆

神奈川県企業庁のホームページ



## 一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスの社会貢献事業について

当財団は、昭和60年に公益法人である「財団法人神奈川県企業庁サービス協会」として発足し、以降28年間、水資源の有効利用等に係る普及啓発などの公益事業を実施してまいりました。

その後、平成25年に国の公益法人改革により、一般財団法人に移行すること（移行法人）となり、公益法人時の財産を原資に12年間の「公益目的支出計画」に基づいた公益事業を実施してきましたが、令和6年度末をもってこれを完了いたしました。

今後は、これまでの移行法人から文字通り、一般財団法人として活動していくこととなりましたが、これまでの活動実績をレガシーとしながら、地域住民の皆さまの生活環境の維持向上と地域社会のさらなる発展に寄与していくべく、令和7年度については「社会貢献事業（水・自然エネルギー等普及啓発事業）」として、次の事業を実施しました。

イベント名	実施日等	実施場所	参加人数等
水源の森林観察会バスツアー 実施	8月16日(水)、20日(水)	やどりき水源林（松田町）	44人（大人21人、子供23人）
下水道ふれあいまつり 参加	10月25日(土)	四之宮ふれあい広場	302人
「水しるべ No.19」 発行	令和8年1月	給水区域内小中学校等に配布	1,500部



〈編集後記〉 「水しるべ No.19」では、昨今社会的課題となっているインフラの老朽化に対する取り組みの一例として、「相模ダムのリニューアル」というタイムリーなテーマを掲載いたしました。基幹的インフラを後世へとつないでいくことの大切さを考えるきっかけとなれば幸いです。

また、当財団は、「一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスの社会貢献事業について」にありますように、今後、一般財団法人としての活動を本格的に開始することとなり、これを契機として、当財団の経緯や活動等の変遷を、ホームページに掲載しておりますので、よろしければあわせてご覧ください。

これからも、地域社会の持続的な発展に貢献できるよう、引き続き「社会貢献事業」を通じて、水や自然エネルギー等に関する環境保護・保全のための啓発活動に取り組んで参りますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当財団のホームページでバスツアーの動画や財団の歩み等を紹介しています。



発行月：令和8年1月

発行所：一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス 経営課

問合せ先：〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-9-15

電話 042-768-4222 Fax 042-768-4230

<https://www.kmes-kanagawa.or.jp/>

